

地域づくり計画



平成 28 年 3 月

佐治地域自治協議会

拠点施設 丹波市青垣町佐治 619-2

佐治コミュニティセンター「佐治来楽館」

TEL 0795-87-2608

FAX 0795-87-2610

I はじめに

平成 18 年に佐治地域自治協議会（以下、「本会」という。）を設立し、地域住民の皆様方のご協力により、地域づくり事業に取り組んできました。

丹波市（以下、「市」という。）は、市のまちづくりに関する最高規範として位置付けされる、丹波市自治基本条例（平成 24 年 4 月 1 日施行）を制定し、その中で「自治協議会は、自からが取り組む活動方針、内容等を定めた地域づくり計画の策定に努めるものとします。」と謳っています。

市は、平成 23 年度に地域の活性化を目的とする丹波市元気な地域づくり特別事業交付金（以下、「交付金」という。）制度（平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 カ年）を創設しました。

本会では、平成 23 年度に元気な地域づくり計画を策定し、翌年度から交付金事業に着手し、拠点施設の佐治来楽館の整備（調理室の増設、防音改装、交流広場の整備、等々）、各地区のウォーキングコースの整備、伝統文化の継承、各種マップの作成、イベント用備品の購入等々、地域の活性化に向けた基盤整備を行って参りましたが、充分とは言えず新たな課題もあります。

そこで、市において平成 28 年度に創設される、新しい地域づくり交付金制度を活用するため、これまで取り組んできた元気な地域づくり特別事業や地域づくり事業のうち継続が必要な内容や新たな課題を精査しながら、10 年間の基本計画・実施計画として、佐治地区全体のあるべき姿を整理した「地域づくり計画」を作成いたしました。

今後、当計画の具現化に向けて本会を中心に、地域のみなさんとともに積極的に活動を進めて行きます。

II 現状と課題

1 現 状

当地区は、丹波市青垣町の中心地に位置し、宿場町の面影を偲ばせる街並みの区域と加古川を挟んで、東西に農村区域が広がり“まち”と“むら”が混在した地域です。

“まち”の商店街は店舗数も少なくなり、昔のような賑わいがなくなりましたが、佐治活性化委員会が中心となりふれあいイベントの開催や関西大学佐治スタジオ（佐治倶楽部）では空き家の利活用事業に取り組むなど、商店街の復興に向けた取り組みも活発にされております。

“むら”の農業経営は水稻栽培が中心で、経営形態も専業農家が無く、兼業農家が多い状況です。

地域内には、認定こども園あおがき、佐治小学校（平成 29 年 4 月には青垣地域の 4 小学校が統廃合され、青垣小学校として開校。）、青垣中学校、県立氷上西高等学校の教育施設が集中しています。

本会を構成する 22 の自治会は、世帯数が 20 戸未満の自治会が 5 自治会、20～40 戸未満が 11 自治会、40～50 戸未満が 4 自治会、50 戸以上が 2 自治会と小規模の自治会が多く、また、高齢化率が 50%を超える限界集落（自治会）も存在しています。

2 課題

《自治会活動》

- ・ 少子高齢化が進み、小規模自治会では単独での活動が困難な状況です。
近隣の自治会との連携や、地区（中央西・中央東・川西・川東）内の連携等協力体制を図る必要があります。
- ・ 自治会の役員に女性登用が皆無の状況です。自治の意思決定の場に女性が参画することは難しいのが現状ですが、男性に無い女性が持つ特異性を自治活動に生かしていくことから女性登用を積極的に検討しなければなりません。

《健康・福祉》

- ・ 独居老人や高齢者夫婦世帯が増えている状況があります。公共機関やボランティアグループとの連携を密にし、見守りや引き籠りにならない、高齢者の集いの場づくり等の支援が必要です。
- ・ 自治協議会の拠点施設である佐治来楽館は、昼間の利用が少ない状況です。
子どもから高齢者までがつどえる場としての機能が不足していることから、イベント広場の拡充、健康器具の備付、喫茶ルーム、憩いのスペース、等々、施設内外の充実を図る必要があります。

《教育》

- ・ 平成 29 年 4 月には、現行の 4 小学校が統廃合整備により、青垣小学校として開校することで、佐治地域には青垣地域の保育・教育施設すべてが集中することになります。子どもたちの遊び場の提供、地域との関わり、登下校の安全確保等について、関係機関と連携を図り支援が必要です。
- ・ 子どもたちの学びを地域で支える「平成たんば塾」については、小学校統廃合のこともあるので、青少年健全育成推進協議会、PTA、各協議会（振興会）と連携を図る必要があります。

《防災・防犯》

- ・ 全国的に異常気象による大規模災害が発生しております。消防本部・消防団とも連携を図り、災害時に備えての防災訓練を実施する必要があります。
地域内では高齢化が進み、災害時における救援者がいない自治会も見受けられます。また、地域内の高校生や中学生が災害時にどのような協力ができるのか、教育機関と連携を図り、防災学習等の実施も検討します。
- ・ 自治会の自主防災計画の策定を推進します。
- ・ 盗難・車上荒らし等の犯罪を未然に防ぐために、警察・関係機関と連携をはかり、自治会においては防犯委員さんによる啓発活動を行うとともに、佐治地域内の要所に防犯カメラの設置を検討します。

《伝統文化の継承》

- ・ 地域にある伝統芸能（三番叟等）・伝統工芸（丹波布等）、伝統行事（祭り等）、史跡等の記録写真・動画等が整理されていないため、DVD編集等、記録保存を検討します。

《地域づくり》

- ・ 個人所有や市所有も含め、空き家や遊休地が増加傾向にあり、防犯・環境の面

からも、その利活用が求められています。田舎暮らし体験や簡易宿泊、空き地に花いっぱい運動等の有効利用について検討します。

- ・自然の中に住んでいて自然に触れ合う機会が少なくなっています。フィールドアスレチックや登山道の整備等を検討します。
- ・地域内の農業経営は、水稻栽培が中心で、地域特産の大納言小豆の生産もあるが規模的には少ない。新たな特産物の奨励や野菜等の朝市、農産物のふるさと宅急便等を検討します。

Ⅲ キャッチフレーズ

～ 元気で心豊かな“さじ” ～

Ⅳ 基本計画（基本方針、基本目標等）

1 人権が尊重され人びとの心が触れ合う地域づくり

自治公民館と連携を図り、学習会・住民交流会等を開催し、人権意識の高揚を高め、住民一人ひとりの人権が尊重される地域づくりを目指します。

2 健康寿命日本一を目指す地域づくり

定期健康診断の推進、健康増進のスポーツ教室の開催、健康講座の開設、等、健康でいきいきと暮らせる地域を目指した取り組みを行います。

3 地域資源を活かした地域づくり

文化・伝統芸能・民芸品等の継承と普及推進、史跡の保存、空き家・遊休地の有効活用、等、地域資源を活かした地域の活性化を図ります。

4 生涯学習の地域づくり

各種講座・教室等の開催により住民の交流を深め、知識や技術が循環する地域社会を目指します。

5 安全安心で暮らせる地域づくり

災害に備えた防災訓練の実施、幼児・児童・生徒の見守り、環境美化の取組、防犯対策等、住民が安全安心に暮らせる地域づくりを目指します。

6 人々がふれあう地域づくり

地域活動の拠点施設であるコミュニティセンター「来楽館」の内外の設備の充実を図り、住民が心豊かにふれあえる事業を展開します。

V 基本計画に基づく実施計画

基 本 計 画	実 施 計 画 の 内 容	備 考
人権が尊重され人びとの心が触れ合う地域づくり	・ 人権講演会の開催 ・ 人権の花づくり ・ 標語の募集	
健康寿命日本一を目指す地域づくり	・ 健康ウォーキングラリーの開催 ・ 健康・福祉講座の開催 ・ 高齢者お昼のつどいの開催 ・ スポーツ大会の開催（グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、他）	
地域資源を活かした地域づくり	・ フィールドアスレチックや登山道の整備 ・ 丹波布の普及イベントや遊休地を利用した綿・桑等の栽培 ・ 市所有等の空き家の有効利用・田舎暮らし体験宿泊 ・ 伝統文化の継承と史跡の調査保存	
生涯学習の地域づくり	・ 子どもたちの学びを地域で支える「平成たんば塾」の開講 ・ 各種趣味の講座開催 ・ 野菜栽培生産者のグループ化 ・ 男子サークル（料理、生け花、茶道など）	
安全安心で暮らせる地域づくり	・ 自主防災組織づくりの推進 ・ 自治会の地縁団体化の推進 ・ 子供の登下校の安全確保と見守り ・ 子どもたちの遊び場の提供 ・ 防犯カメラの設置	
人々がふれあう地域づくり	・ 佐治ふれあい祭り（文化芸術祭・農産物品評会） ・ 青垣佐治川祭り（演芸と花火） ・ 八宿まつり等のイベント開催 ・ 子どもから高齢者までがつどえる場として、来楽館内外の設備の充実を図る。	

VI 活動の評価と見直し

毎年度、理事会及び自治会長会で事業の見直しを行います。

- ①活動の評価（費用対効果など）
- ②今年度の活動の反省点
- ③来年度へ向けての取り組みの改善点
- ④来年度に向けた新たな取り組み

VII その他

●計画策定の経過

9月10日	計画の趣旨説明
10月22日	地域づくりの現状と課題 他
11月19日	事業推進のための組織について 他
12月 2日	基本計画の検討 他
12月17日	基本計画の検討及び実施計画の検討 他
2月10日	自治会長会での意見聴取
2月18日	地域づくり計画（案）の最終調整と概要版の検討
3月24日	臨時総会において承認

●地域づくり計画策定メンバー

足立篤夫 奥井 充 足立 純 足立尚久 大内勝彦 足立芳和 中川重之
太田一誠 足立 司 藪下正文 足立君代 出町 慎 足立恵美 松本昭子

●地域の施設一覧

『行政施設』	青垣住民センター（支所機能・図書館・浄化槽管理組合）、国保診療所
『教育施設』	佐治小学校・青垣中学校・氷上西高等学校
『児童施設』	社会福祉法人青垣福祉会「認定こども園あおがき」
『県の施設』	兵庫県森林動物センター
『公的施設』	丹波市森林組合、丹波ひかみ農業協同組合青垣支店

●添付資料

- ・施設・資源の分布図
- ・ウォーキングマップ
- ・組織図

《参考資料》

《年代別人口及び高齢化率》

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

自治 会名	年齢別人口										総人口	高 齢 化 率 (%)
	1 0 歳 未 満	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 代	8 0 歳 代	9 0 歳 以 上		
新 町	22	26	11	20	24	23	22	27	16	5	196	31.1
新川町	0	4	6	4	3	1	3	2	3	1	27	22.2
東 町	0	0	3	1	1	3	7	5	6	1	27	59.3
中 町	6	8	11	8	11	14	22	12	20	7	119	39.5
荒神町	4	10	8	4	10	8	13	7	12	4	80	38.8
愛宕町	1	3	4	3	3	4	8	6	9	4	45	53.3
上 町	8	4	6	5	4	13	14	4	13	2	73	35.6
本 町	2	7	3	3	7	5	15	5	7	3	57	45.6
大正町	14	13	13	21	15	21	18	12	14	7	148	26.4
佐治団地	6	22	2	11	6	3	0	1	3	0	54	7.4
小 倉	13	15	15	14	23	12	36	16	8	2	154	33.1
森	9	6	4	10	4	10	23	9	7	2	84	33.3
市 原	12	23	11	21	10	20	24	10	13	5	149	26.2
岩 本	14	7	10	22	12	19	29	18	10	1	142	35.9
大 箕	11	19	8	13	12	1	8	12	0	0	84	21.4
寺 内	0	7	6	1	9	9	6	12	9	2	61	42.6
小和田	13	10	19	17	11	17	22	9	11	3	132	25.8
矢の内	2	0	3	4	0	4	7	2	4	0	26	42.3
沢 野	20	32	36	34	46	53	66	41	33	5	366	30.3
奥塩久	1	7	4	6	7	2	15	6	3	4	55	34.5
旭 町	18	17	10	27	17	7	17	7	2	0	122	14.8
ウリウト	15	15	10	9	12	3	2	2	0	0	68	5.9
合 計	191	255	203	258	247	252	377	225	203	58	2269	30.4

※ **限界集落**とは、過疎化などで人口の 50%以上が 65 歳以上の高齢者が占め、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている集落

※組織体制



